

新型コロナウイルス感染症に係る大会実施ガイドライン

令和4年10月1日
近畿小学生バレーボール連盟

第43回近畿小学生バレーボール選手権大会は、スポーツ庁、公益財団法人日本バレーボール協会、日本小学生バレーボール連盟、各府県小学生バレーボール連盟等から通知されたガイドライン等に基づき、以下のことについて万全の感染防止策を講じた上で開催致します。

1. エントリーされた選手及びスタッフ以外の、入館は12名以内とする。
2. 大会参加者（選手・引率者・指導者・大会役員等）は、大会前2週間の健康観察を実施し、大会参加同意書を提出すること。
なお、チーム内に陽性者が出たときは、2日間遡って接触がある場合、チームは参加することができない、
3. 会場に入館する方は、マスクの着用及びアルコール消毒液で手指消毒を行うこと。
4. 観客席は、使用会場のガイドラインに沿って使用すること。
5. 観戦時においても、マスクを着用し、声援は送らず、静かに試合を観戦し、会話も控えること。使用した観客席は、使用終了時に使用者の責任で消毒を行うこと。
※消毒液等については、チームで持参すること。
※健康上の理由等で、マスクの着用が出来ない方については互いに配慮し合うこと。
6. ベンチスタッフ・控え選手・審判（補助役員を含む）はマスクを着用すること。
7. 各チームは、試合終了時各ベンチ（椅子等）の消毒を行うこと。
※消毒液等については、チームで持参すること。
8. 試合前のコイントスにおいて、審判・選手との握手は行わないこと。
9. 試合終了後の、ネット際での挨拶（握手）は行わないこと。
10. 密接場面を避けるため、握手やハイタッチ及び円陣を組むなど身体接触を避け、近距離での指導や大声での応援を慎むなどの感染症防止対策を行うこと。（適宜場内放送において指導を行う）
11. アリーナ内は、団扇・タオル等で扇ぐことを禁止する。
12. 開・閉会式等の、密になる事は簡略化する。
13. 大会開催中に体調不良者が出た場合は、速やかに大会本部に申し出ること。
14. 大会終了後、2週間においても経過観察を行うこと。また、その期間に感染症が疑われる状況が生じた場合には、各府県の理事長へ速やかに報告すること。